

□□の□□□□□□□□□□

■ □ □□□□の□□

■ □ □□□□の□□

■ □ □□□□□□□□の□□□

■ □ □□□□の□□□

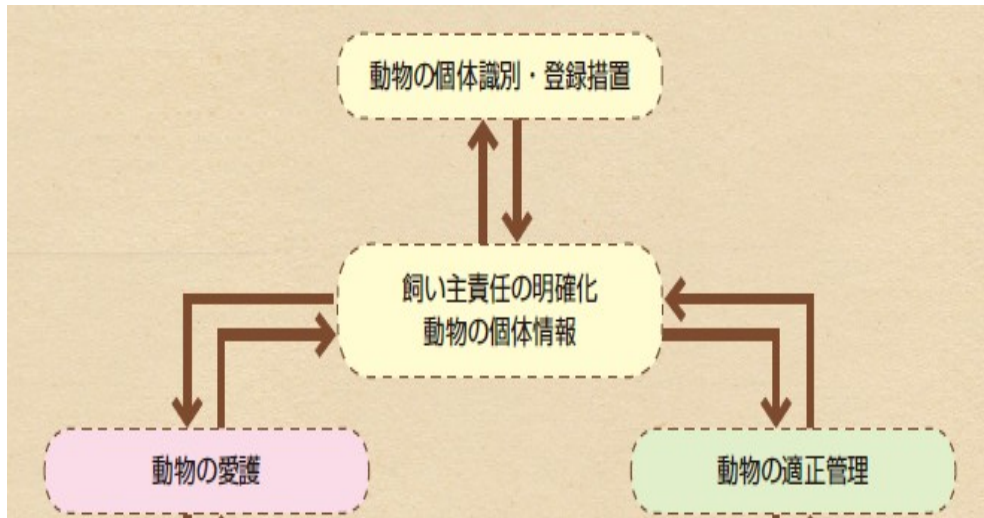


□ □ □ □ □ の □ □

動物の飼育管理

動物の飼育管理の重要性

動物の飼育管理の目的



動物の飼育管理の目的は、動物の健康と福祉を確保し、飼育者の責任を明確化することである。動物の飼育管理の重要性は、動物の健康と福祉を確保することである。



□□□の□□□□□□□□□□

□□□□の□□□□ □□□□

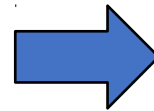
- **1** □ □□□□□□□□□の□□□□ □□
- **2** □ □□□□□□□□□の□□□□ □□
- **3** □ □□□の□□□□□
- **4** □ □□□の□□□□ □□□□□□□□ □□□

□□□□の□□□□ □□□

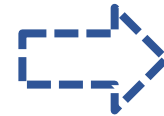
- **5** □ □□□の□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□, □□□の□□□□□□□□□□

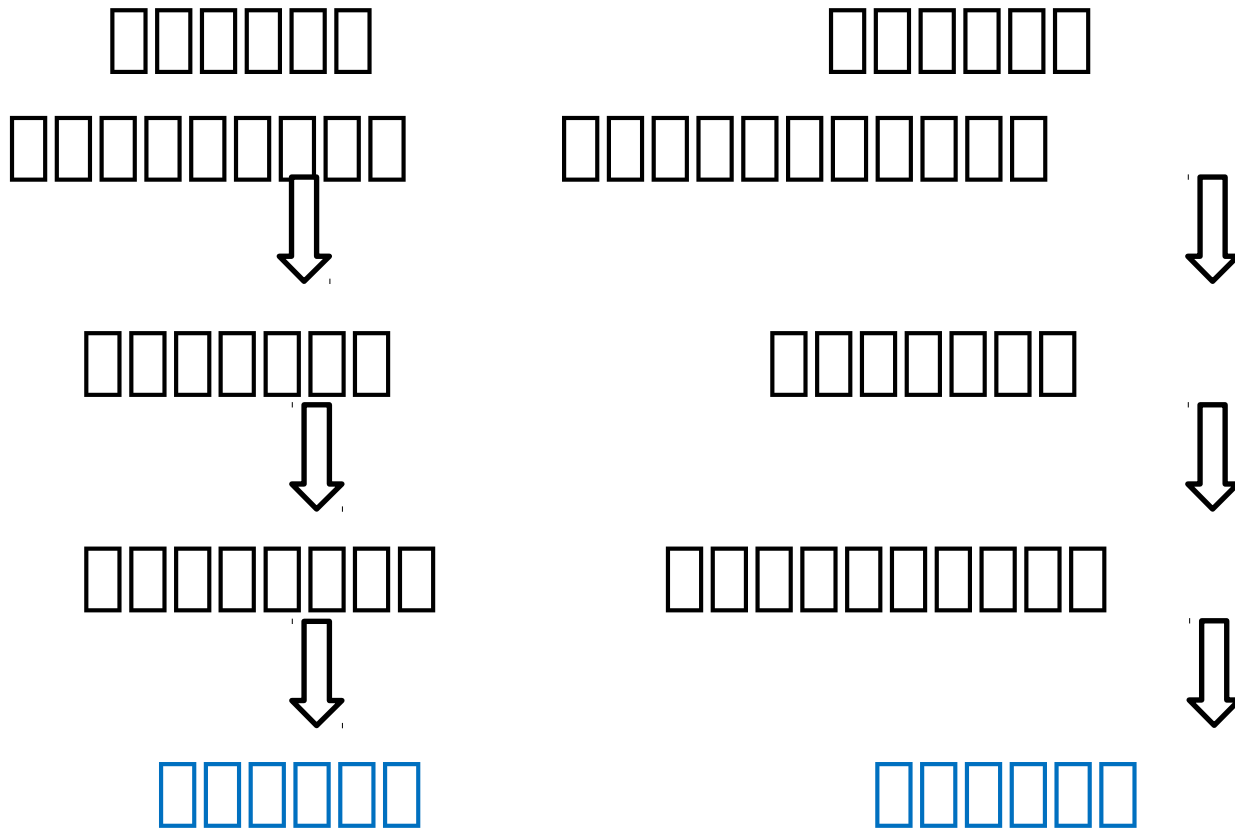
■ □□□□□□□□□□



■ □□



□□の□□□□ □□





□□の□□□□□□□□□□

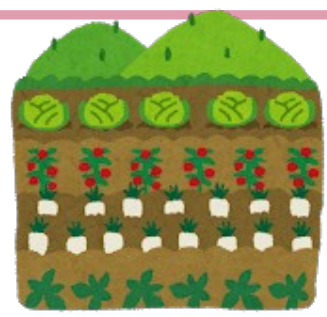
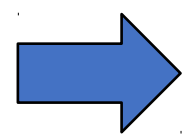
□□□の□□□□ □□□□□

- **1** □ □□□□□□□□□の□□□□
- **2** □ □□の□□
- **3** □ □□□□□

□□□の□□□□□ □□□

- **4** □ □□の□□□□□□□□□□ □□□□□□
- **5** □ □□の□□□□□
- **6** □ □□□□□□□□□の□□□□□□□□□□
- **7** □ □□□□□□□の□□□□□

□□□□□□□□□□のの□□□ □□□□

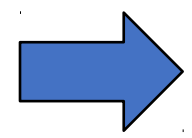


□□□の□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□□□

□□□□□□□□



□□□の□□□□□□

□□□□□□□□□□

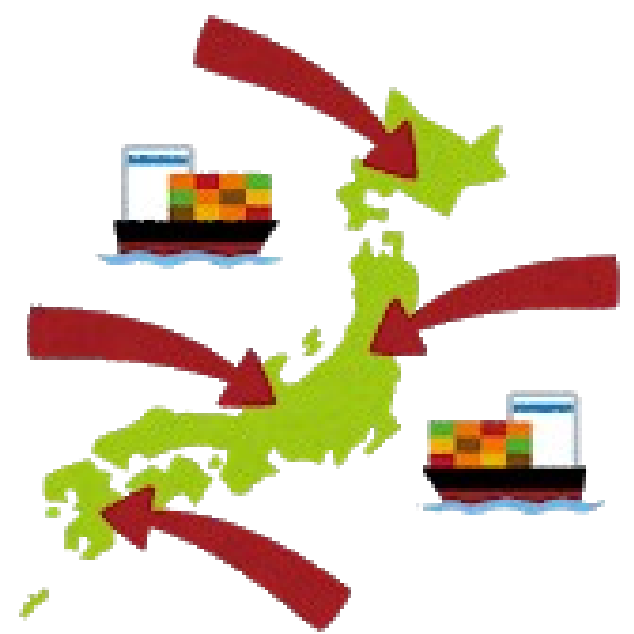
□□□□□□□□□□□□□□の□□□□ □□



■ □の□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□の□□□□□□□□□□□□



□□□□□□□□□□□□□□□□
□□の□□□□ □□



■ □□□□□□□□□□□□□□□□の□□□□□□□□□□□□□□□□
□, □□□□□□の□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□①

□ □□□□の□□□□□□□□□□□□ □
□□□□□□□の□□□□□□□□□□

① □□の□□□□□ □□

② □□の□□□□□□□□□□ □□

③ □□の□□□□□ □□



□□の□□

■ □□□□②□□の□□□□□□□□□□ □□□□□□

■ □□□□□□□□□□□□の□□□□□□□□□□□□□□ □□□ □
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□



□ □ □ □ □ の □ □



□□□□の□□□□

■ □□

■ □□

■ □□□□□□□□□□

■ □□□□□□□

■ □□□□□□□□□□

■ □□

■ □□□□□



首輪

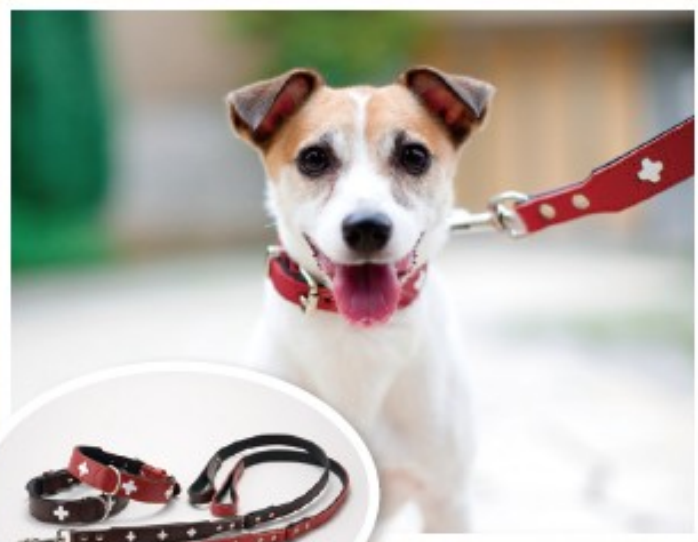
最も身近な個体識別方法のひとつ。革製、布製、金属製などがあるが、首輪自体に情報を記載するなら革製が一般的。多くの哺乳類に使える。費用は1,000円前後～数千円。

○長所

- ・ 手に入れやすい
- ・ 簡単に取り付けられる
- ・ 動物への負担が少ない
- ・ 比較的安価
- ・ 首輪そのものに表示できる情報量が多い
- ・ ぱっと見て「首輪をしている（飼い主がいる）」とすぐわかる

△短所

- ・ 外れて落としたり破損する可能性がある
- ・ 時間がたつと摩耗して情報が消えるおそれがある
- ・ 偽物につけかえることができる
- ・ 動物の体に触れないと情報を確認しにくい
- ・ 狭い場所を通る習性のある動物だと、ものに引っ掛けることがある





名

札

迷子札

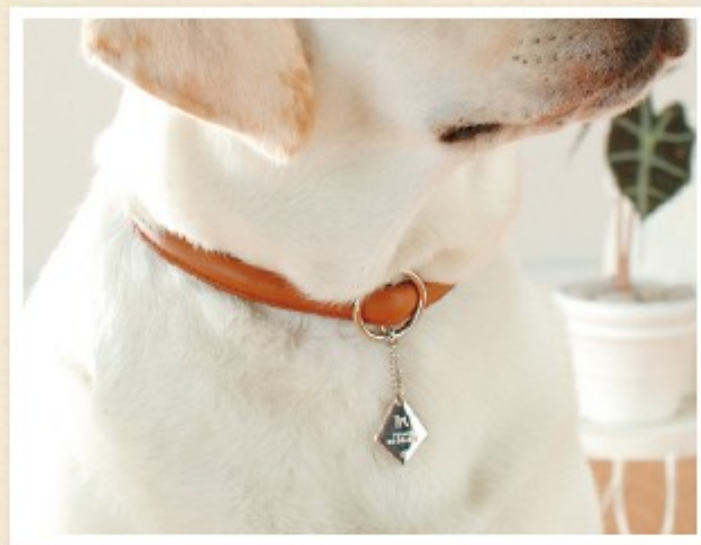
ファッション性の高いものも増えてきた。首輪に取りつけるものであって、名札単独では装着できない。費用は数百円～千数百円。

○長所

- ・簡単に取り付けられる
- ・動物への負担が少ない
- ・比較的安価
- ・表示できる識別情報量が比較的多い
- ・名札をつけていることが見てわかる

△短所

- ・外れて落とす可能性がある
- ・記載方法によっては、時間がたつと摩耗して情報が消えるおそれがある
- ・偽物につけかえることができる
- ・動物の体に触れないと情報を確認しにくい
- ・名札単独ではつけられない
- ・個人情報に記載するリスクがある





鑑札

犬を飼い始め、市区町村に登録をすると鑑札が発行される。これをつけるのは義務となっている。最近では地域の特徴を活かしたかわいらしい鑑札もある。費用は3,000円程度（登録手数料）。

○長所

- ・ 飼い主としての責任を果たしていることを示せる
- ・ 登録番号が記載されているので、迷子札代わりにもなる
- ・ 取りつけは簡単で、犬への負担は少ない

△短所

- ・ 外れて落とす可能性がある
- ・ 動物の体に触れないと情報を確認しにくい
- ・ 鑑札単独ではつけられない
- ・ 犬以外には使うことができない





マイクロチップ

○長所

- ・哺乳類、鳥類、爬虫類に限らず魚類などにも装着可能
- ・ずれたり破損することはほとんどない
- ・偽物につけかえることはほぼ不可能
- ・埋め込みは獣医師が行うが、技術的には容易
- ・動物の体に触れなくても情報を読み取ることができる
- ・動物への負担は比較的少ない

△短所

- ・痛みなどへの不安から、飼い主の理解が得にくい
- ・比較的高価
- ・装着していることが外部からわからない
- ・専用リーダーがないと読み取ることができない
- ・ICチップ自体に格納できる情報量は少ない(15桁の数字)

世界的に主流となっている、ICチップが入ったマイクロチップを体内に埋め込む識別方法。国内でも普及が進んでいる。費用は数千円～1万円程度(詳細は14ページ以降を参照)。



写真提供：環境省対馬野生生物保護センター



入れ墨

タトゥー

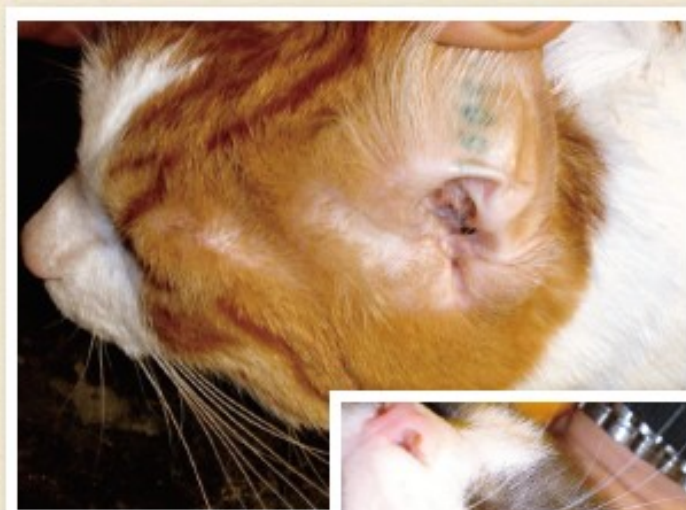
マイクロチップ以前に世界的に広がっていた個体識別方法。哺乳類に限られる。純血種の犬や猫、ウサギで行われ、耳の内側に入れるのが一般的。費用は数千円。

○長所

- ・消えることはほとんどない
- ・人の入れ墨と違ってスタンプ式で、技術的には容易
- ・一度入れると、比較的永続性がある

△短所

- ・偽の識別番号を入れることが可能
- ・施術者が少ない
- ・飼い主の理解が得にくい
- ・動物に負担がかかる
- ・表示できる情報量は少なく、記号数文字に限られる



海外では、入れ墨による個体識別をしている猫も多い
 (写真提供：藤田りか子)



あし
足

わ
環

一般に鳥の個体識別に用いられる。記号が記されたアルミニウムなどの軽い金属板を足に巻く。渡り鳥の標識調査などにも用いられる。ペット用のプラスチック製足環もある。費用は数百円。

○長所

- ・ 鳥の大きさを問わず使用できる
- ・ 外れる可能性は少ない
- ・ 装着は技術的に難しくはない
- ・ 鳥への負担は少ない
- ・ 比較的安価



△短所

- ・ 偽物につけかえることが可能
- ・ 動物の体に触れないと情報を確認しにくい
- ・ 表示できる情報量は少なく、記号・数字に限られる
- ・ 成長によって足に合わなくなることがある
- ・ 外そうとしても簡単に外れない



じ
耳

 ひょう
標

牛の個体識別によく用いられるもので、番号やICタグのついた耳標を耳に装着する。費用は数百円（ただし、牛トレーサビリティ制度の耳標は、補助事業により無料で配布されている）。



写真提供：(独)家畜改良センター

○長所

- ・ 中型～大型動物に適している
- ・ 装着は技術的には難しくない
- ・ 比較的安価
- ・ ICタグがついているものは、動物が通り抜けるだけで読み取れるゲート型の読み取り機で管理できる

△短所

- ・ 外れて落としたり破損する可能性がある
- ・ 動物への負担は多少ある
- ・ 表示できる情報量は少なく、記号数文字に限られる



牛のDNA検査

■ 目的

■ DNA検査

■ 牛のDNA検査



子牛登記	
飼育場名 (支 所)	鹿児島県支部 大島支所
飼育場番号	291-2170866-001
検査年月日	平成18. 4. 12
検査委員	程 啓成
採乳年月日	平成17. 3. 2
人工授精師	川上 和則
種畜・特記	
和牛改良協会登録番号	南 - 48





□□□□□②

□ □□□□□□□□□□の□□□□□□□□□□□□
□の□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□

① □□□□の□ → □□□

② □□□の□ → □□

③ □□ → □□



□□□□□③

□ □□□□の□□□ □□□□□□□□ □□□
□□□□□□

① □□□□□□の□□□□□□□□□□□□□□

② □□□□□□□□□□□□□□

③ □□の□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□



□□□□□□□□□□

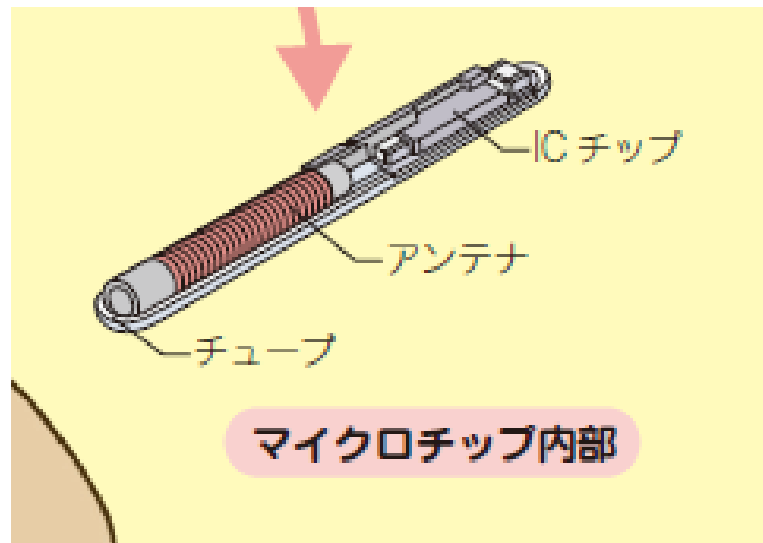
- **IC** □□の□□□□□□□□□□
- □□□□□□
- □□の□□□□□□□□□□
- **IC** □□□□□□□□□□□□□□□□
- □□□□□□□□□の□□□□□□□□

マイクロチップの構造

■ チューブ長 12mm

■ IC チップはチューブの先端に搭載されている

■ チューブの先端にはアンテナが搭載されている





マイクロチップの挿入② マイクロチップの読み取り

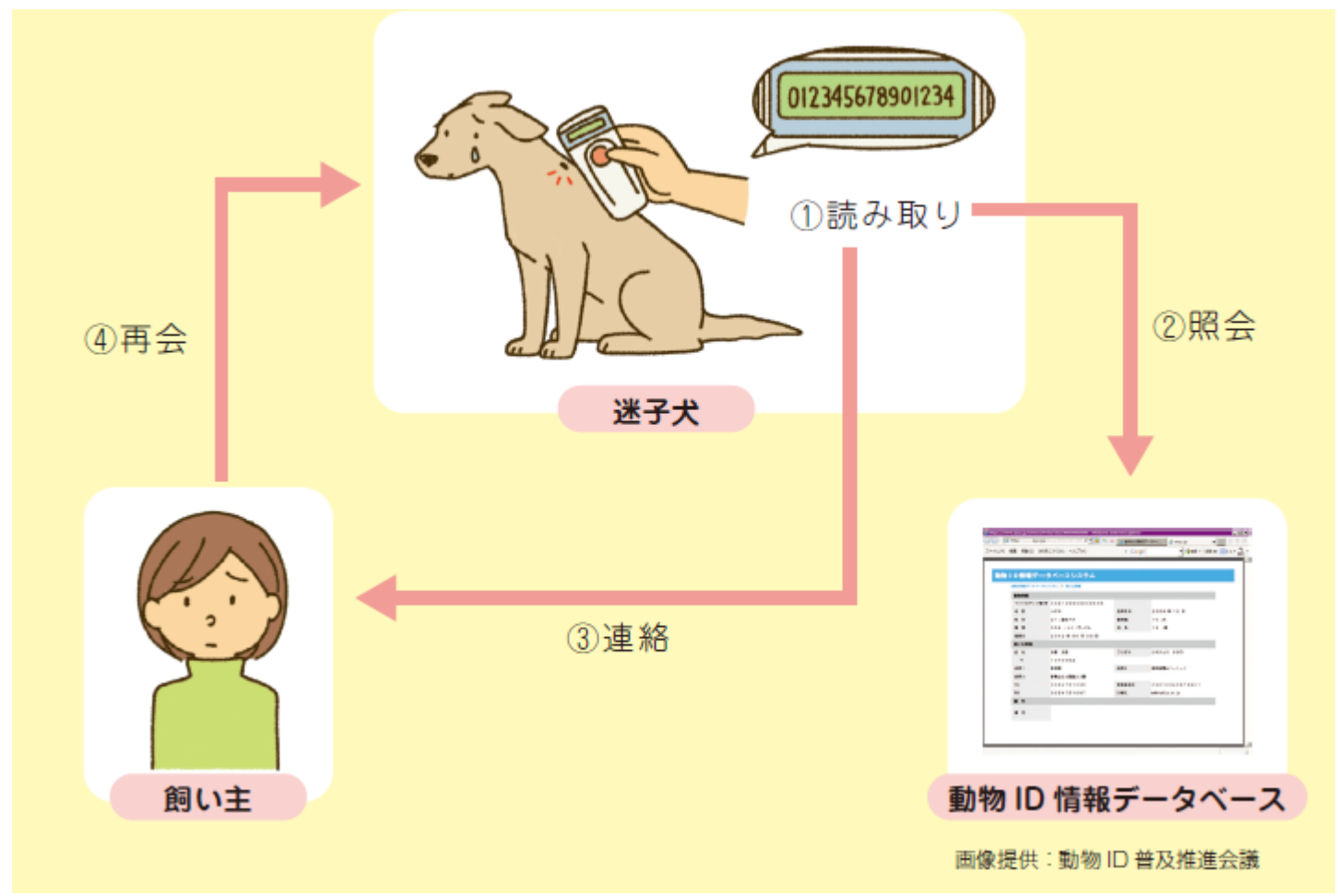
■ マイクロチップの挿入の仕方

マイクロチップの ISO 番号





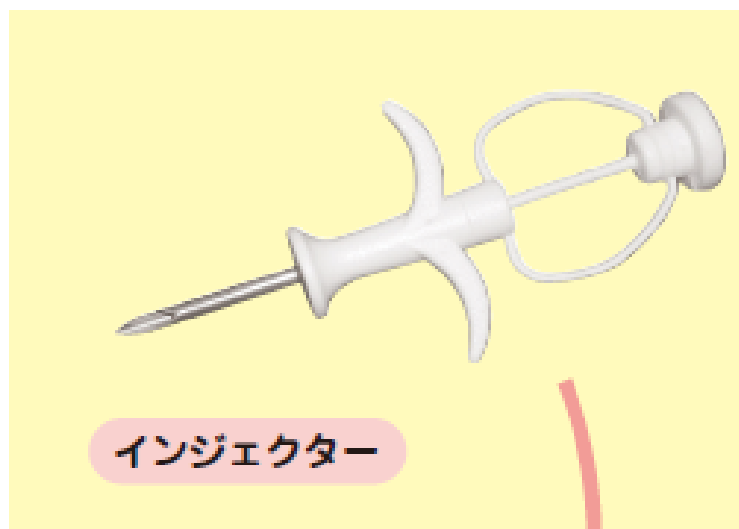
□□□□□□□の□□③ □□の□□



□□□□□□□の□□□□□

マイクロチップにかかる費用

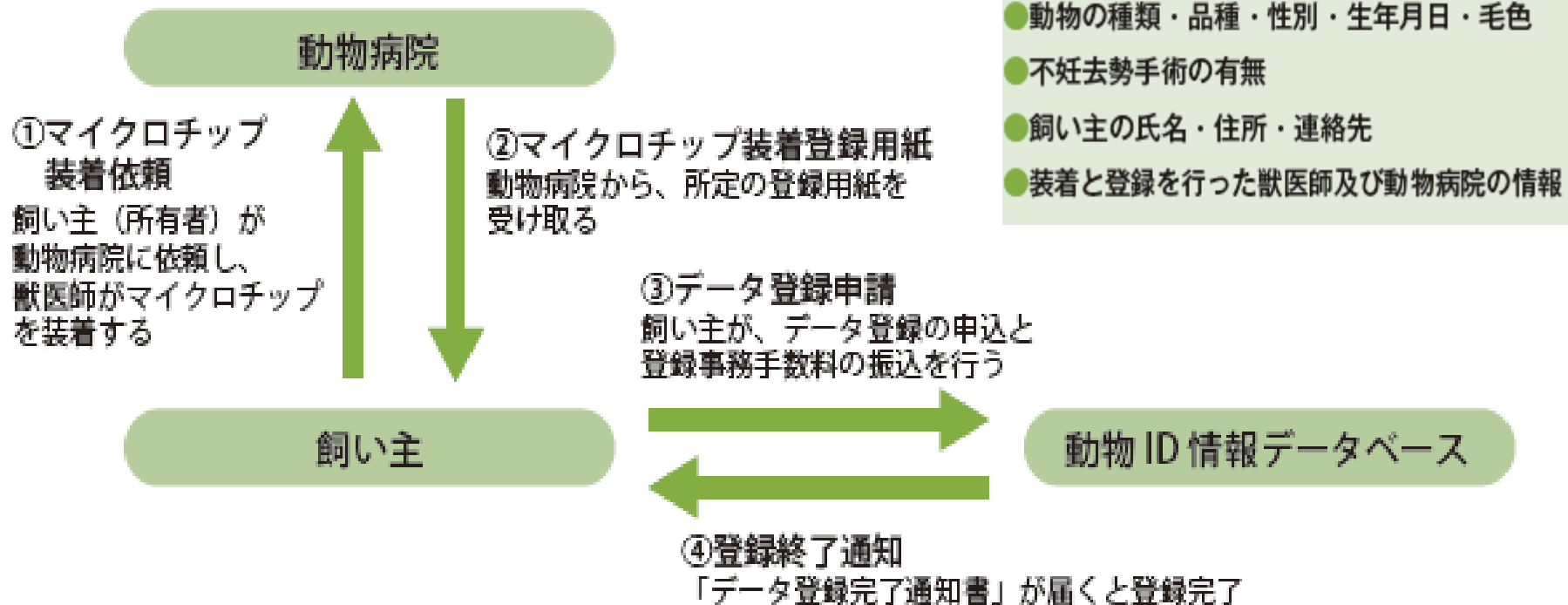
- マイクロチップ本体の購入：千数百円
- 装着の施術費用：数千円
- 登録料：1,000 円 (2019年8月現在)





動物ID情報データベースへの登録

「動物 ID 情報データベース」への登録



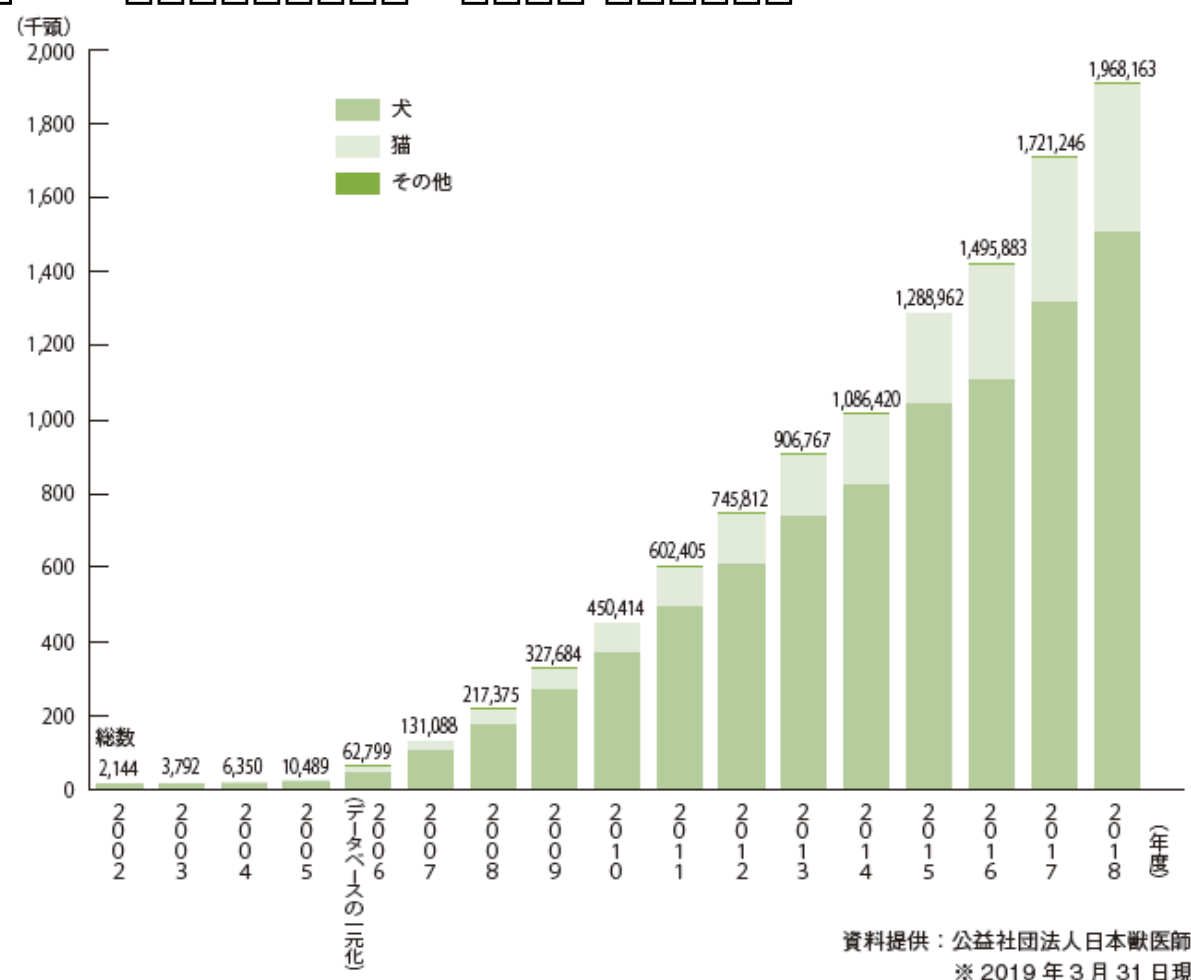
登録情報の項目

- 個体識別番号
- 装着の年月日
- 登録の年月日
- 動物の種類・品種・性別・生年月日・毛色
- 不妊去勢手術の有無
- 飼い主の氏名・住所・連絡先
- 装着と登録を行った獣医師及び動物病院の情報



ペットのID

犬猫IDの普及率



資料提供：公益社団法人日本獣医師会
※ 2019年3月31日現在

マイクロチップの

1. 外観上、埋め込みの有無の識別が不可能。
2. 専用の読み取り装置（リーダー）が必要。
3. 動物病院、行政等での、読み取り体制の整備と安全で確実な読み取り方法の確立が必要。
4. 動物の体内へ異物を埋め込むことに対する所有者等の抵抗感。
5. コスト負担（埋め込み費用、情報登録・管理費用等）。
6. 個人情報の管理に対する不信感、不快感。
7. 所有者への普及が不十分。
8. 各データベースにおける個人情報の管理の確立。



※環境省「マイクロチップによる動物の個体識別の概要（マイクロチップによる個体識別の利点と問題点）」より



□□□□の□□□□□□③

Q □□



□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□の
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□



A □□



□の□□□□□□GPSの□□□□□□
 の□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 C □□の□□□□ □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□



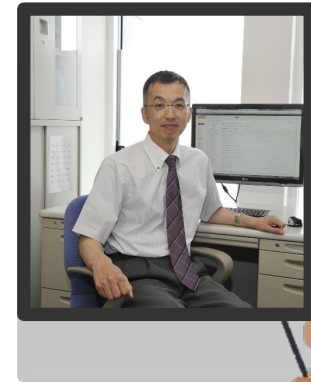
□□□□の□□□□□□⑤

Q □□



□□□の□□□
 □□□□□□□

A □□



□□□□□□□□□□□□の□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□の□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□の□□□□□□□□
 □□□□□□の□□□cm □□□□□□の□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□



□□□□□⑤

□ □□□□□□□の□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□

① □□□の□□□□□□□□□□□□□□

② □□の□□□□□□□□□□□□□□**60** □□□□□□□□

③ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□



□ □ □ □ □ の □ □ □



□□□□□□□□□□□□□□

■ □□□□□□□

■ □□□□□□

■ □□□□□

■ □□□□□

■ □□□□□□□□□□

■ □①□□□

■ □□□□

□□□□□□

□□□の□□□□□□□□□□□□□□□□

■ ① □□□□□□の□□

■ ② □□□□□□の□□□□□□□□□□ □□

■ ③ □□□□ **6** □□□□□□の□□□□□□□□□□
□□□□の□□



□□ □□□□の□□□□□□

□□ □□

□□ □□□□□□

□□ □□□□□の□□□□□□□ □□

(1) □□□□□□□□

(2) □□の□□□□□□ □□□□□□□ □□

□□ □□の□□□□□□□ □□

□□ □□□□□□□□□□□の□□□□

□□ □□□□□□□の□□

□□ □□□□□□□□の□□

□□ □□□□□の□□□□□ □□①

第4 識別器具等の装着又は施術の方法

飼養及び保管の開始後、速やかに識別器具等の装着又は施術を実施し、非常災害時等における動物の予期せぬ逸走等に備え、常時動物に装着するように努めること。ただし、幼齢な個体又は識別器具等の装着若しくは施術に耐えられる体力を有しない老齢の動物である、疾病にかかった動物である等の特別な事情がある場合にあっては、この限りでない。また、発育段階に応じ、識別措置等をより適切と考えられる種類に転換し、又は複数の種類の識別器具等を併用することを、必要に応じて行うこと。

識別器具等の種類は次に掲げるものとする。

(1) 基本的な考え方

次の要件を満たすものの中から、動物の特性、飼養及び保管の目的等に応じて、適切と考えられる種類の識別器具等を選択すること。

イ 動物によって外されにくいものであること。

ロ 老朽化等により、容易に脱落し、又は消失するおそれの少ないものであること。

ハ 動物の所有者の特定が直接的又は間接的にできるように、所有者の氏名及び電話番号等の連絡先の情報が付されているものであること。また、その特定が、迅速に、かつ低廉な費用で行うことが可能なものであること。

ニ 記号により所有明示が行われている場合にあっては、その記号は、統一的であり、かつ一意性が確保されたものであること。また、関係行政機関等からの照会

□□ □□□□□の□□□□□ □□②

に対して、的確に所有者に係る情報（以下「所有情報」という。）を連絡できる体制が、公的な性格を有する団体等によって全国規模で整備されているものであること。

(2) 動物の区分ごとの識別器具等の種類

装着し、又は施術する識別器具等は、動物の区分により、次に掲げるところにより選択すること。

イ 家庭動物等及び展示動物

所有者の氏名及び電話番号等の連絡先を記した首輪、名札等又は所有情報を特定できる記号が付されたマイクロチップ、入れ墨、脚環等によること。なお、首輪、名札等経時的変化等により脱落し、又は消失するおそれの高い識別器具等を装着し、又は施術する場合にあっては、可能な限り、マイクロチップ、脚環等の非常災害時においても脱落のおそれが低く、より耐久性の高い識別器具等を併用して装着すること。

ロ 特定動物

人の生命、身体又は財産に害を加えるおそれが高いことから、厳格な個体の管理が必要である特定動物については、原則としてマイクロチップ（鳥綱に属する動物にあってはマイクロチップ又は脚環）を装着することとし、その細目は特定動物の飼養又は保管の方法の細目（平成18年1月環境省告示第22号）に規定するところによること。ただし、マイクロチップを装着することが困難である場合にあっては、所有者の氏名及び電話番号等の連絡先を記した首輪、名札等又は所有情報を特定できる記号が付された入れ墨、脚環等によること。



③ □□□□ 6 □□□□の□□□□□□□□ □□□□

① □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

② □□□□□の□□□□□□□□□□□□□□□□

③ □□□の□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□の□□□□□□□□

④ □□□□□□□□□□□□の□□□□ □□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□ **MC** □□□□□□の□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

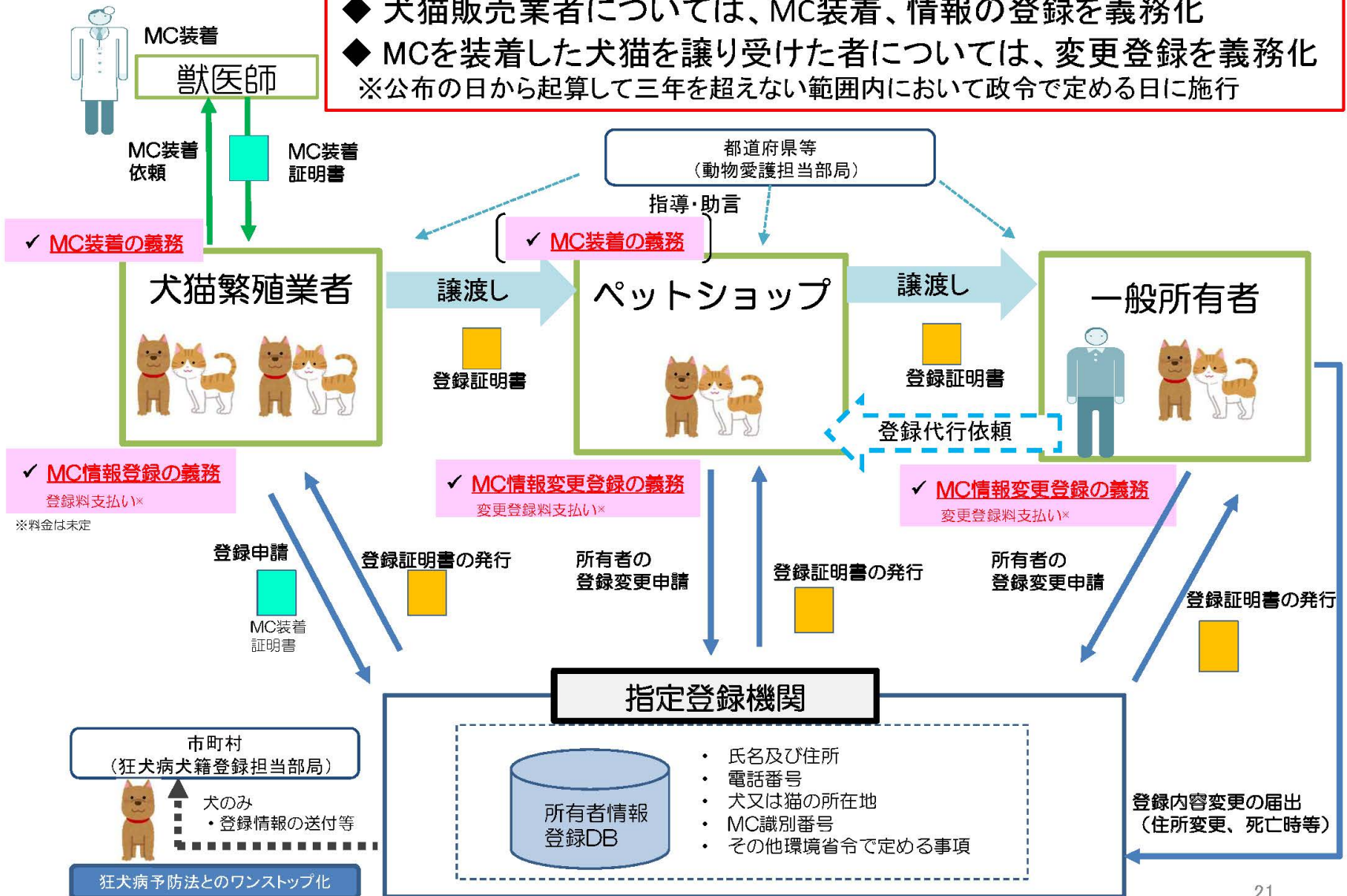
□□□□□□ **MC** □□□□□□□□□□の□□□□□□□□

⑤ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

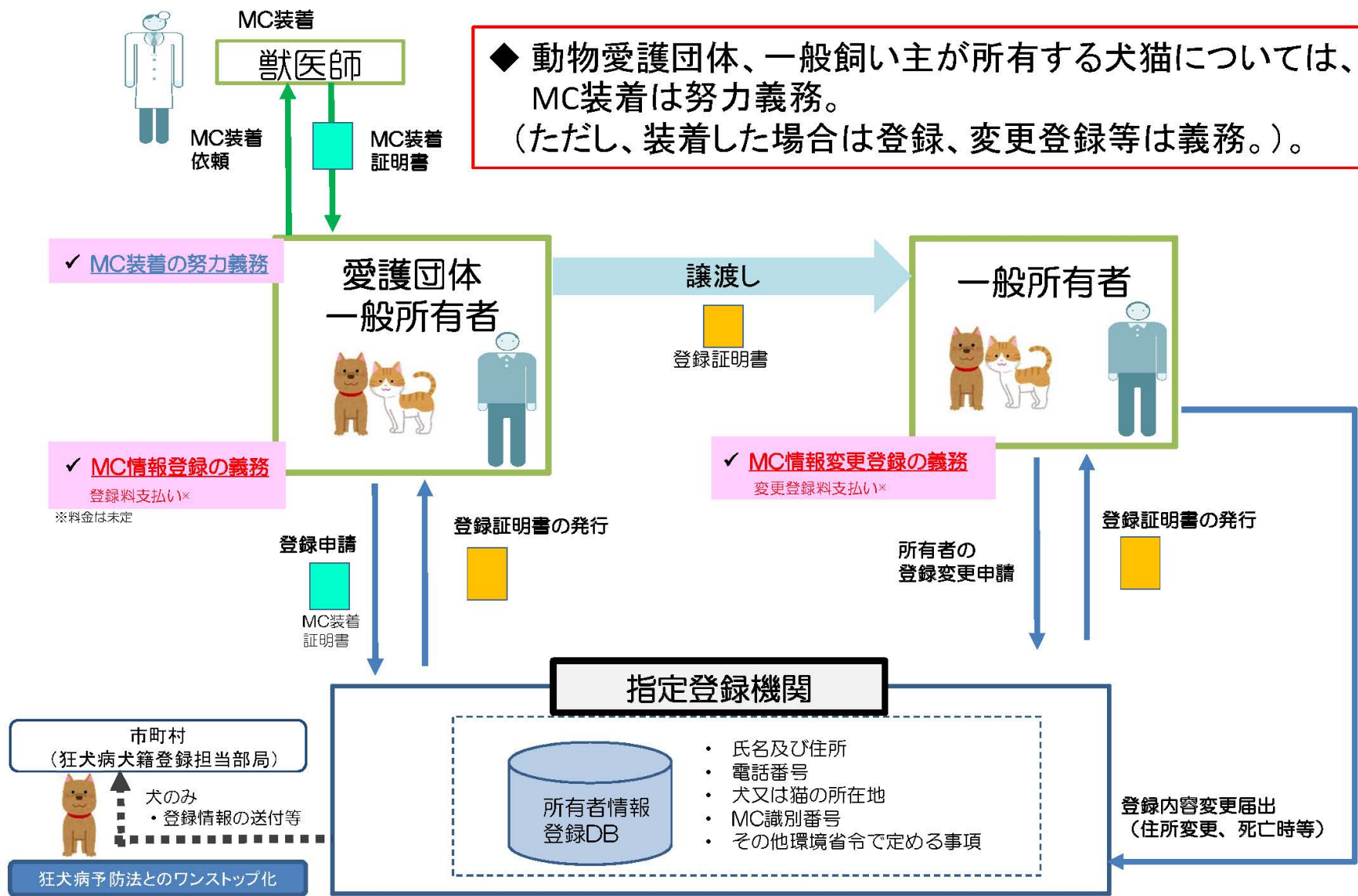


犬猫所有者のマイクロチップ装着・情報登録の流れ(販売ルート)

◆ 犬猫販売業者については、MC装着、情報の登録を義務化
 ◆ MCを装着した犬猫を譲り受けた者については、変更登録を義務化
 ※公布の日から起算して三年を超えない範囲内において政令で定める日に施行



【努力義務】販売ルート以外の譲渡



※MC装着を狂犬病予防法上の鑑札の代わりとみなす

□□□□□

■ □□の□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□の□□□□□□□□

■ □□の□□□□□□

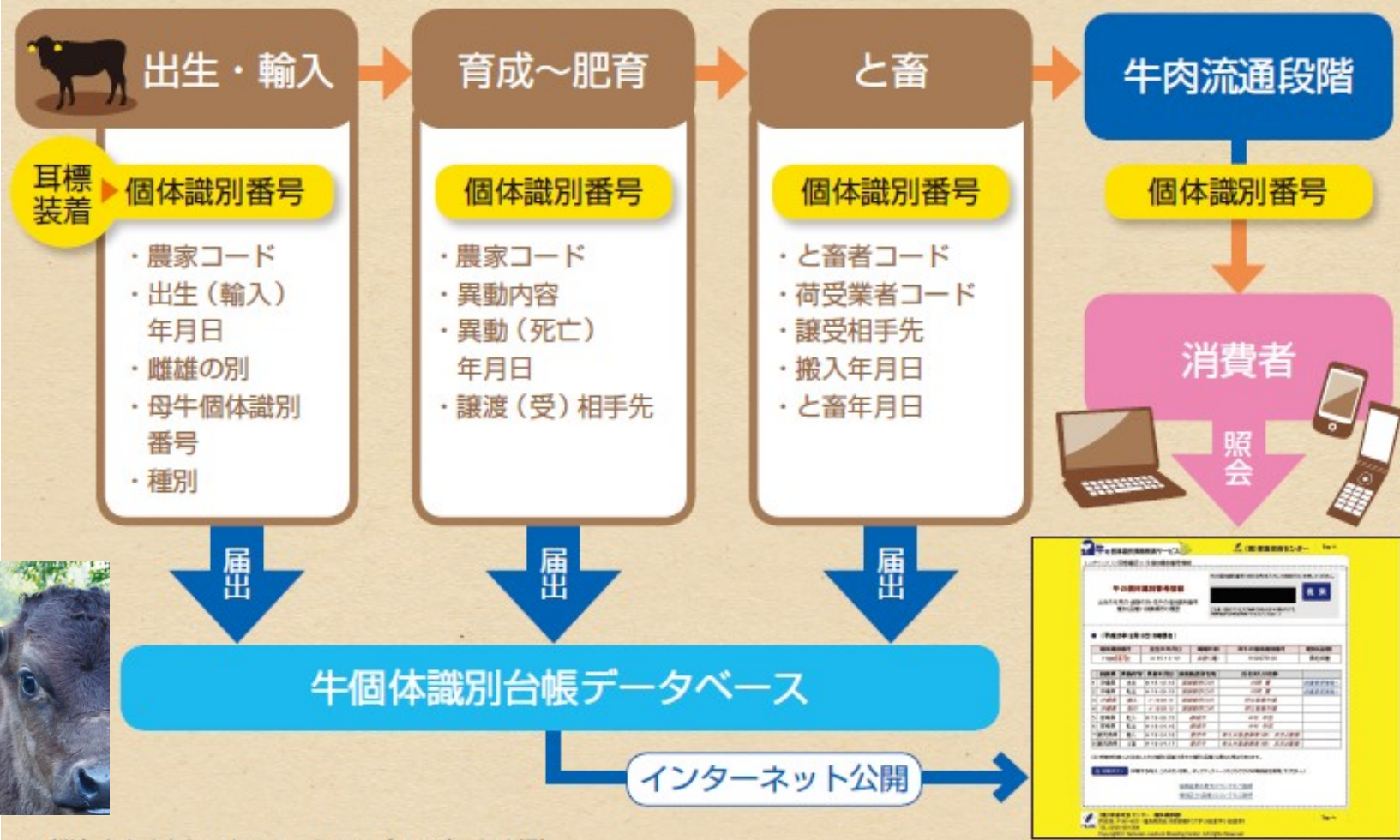
□□の□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□の□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□



□□□□□□の□□ → □□の□□□□□□



※（独）家畜改良センターホームページより（一部改編）



□の□□□

以下の生きた国際希少野生動植物種の登録及び更新には、個体識別措置が義務付けられます。

対象種	個体識別措置
哺乳綱のうち、水生生物以外	マイクロチップ
鳥綱全種	マイクロチップ又は脚環
爬虫綱のうち、最大体長が一定の大きさ以上のもの	マイクロチップ
オオサンショウウオ属全種	マイクロチップ

□□□□□□□の□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□



□□□□① □□□□②□□

■ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ **H11**

■ □□□□□②□□□□□□□□□□□□□□□□ **H16**

□□□□□

■ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ **H20**

■ □□□□□□②□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

H23 □□□□□□

■ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ **H24**



□□□□② □□の□□□□23 □□□□□□□□

□□□□□□の□□□□□□
□□□□□□□□□□□□



■ □□

□□□の□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□の□□□□ □□□□□□ □□□□□□
□□□□□□□□□□□□□の□□□□□□□□□□
□□□の□□□□□□□□

■ □の□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□



野良猫をふやす原因

× 避妊・去勢
をせず野放し

× 飼い猫を
捨てる

× 野良猫
へのエサやり



野良猫が
ふえる



生活環境・事故の問題

ふん・尿の
被害がふえる

事故にあう
ねこがふえる

自然生態系の問題

山に入り
ノネコになる

希少動物が
捕食される





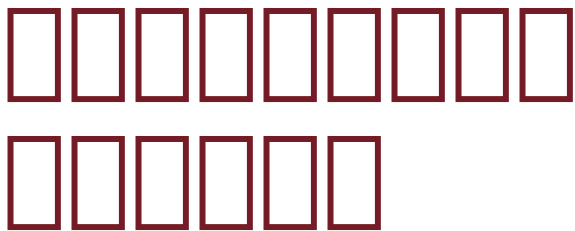
□□□□□⑥

□ □□□□□□□の□□□□□□□□ □□□□□
□□□□の□□□□□□□□

① □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

② □□□□ **6** □□の□□□□□□□□ □□□□ □□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

③ □□□□の□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□



① ⑤

- ①
- ②
- ③
- ④ **GPS**
- ⑤ **IC** **15**

